

1. 財務諸表

貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	年 度	前事業年度 (2021年3月31日)	当事業年度 (2022年3月31日)	比較増減
資産の部				
現金及び預貯金		36,216	49,130	12,914
現金		0	0	△ 0
預貯金		36,216	49,130	12,914
コールローン		20,000	30,000	10,000
有価証券		150,705	144,241	△ 6,464
国債		71,422	75,637	4,215
地方債		43,687	32,752	△ 10,934
社債		33,155	33,975	819
株式		1,056	678	△ 377
外国証券		1,384	1,197	△ 187
有形固定資産		1,491	1,353	△ 137
建物		127	115	△ 12
建設仮勘定		2	79	77
その他の有形固定資産		1,361	1,158	△ 202
無形固定資産		16,192	17,578	1,386
ソフトウェア		11,139	10,429	△ 710
ソフトウェア仮勘定		5,040	7,137	2,096
その他の無形固定資産		11	11	△ 0
その他資産		20,305	21,856	1,550
未収保険料		1,232	1,239	6
再保険貸		151	114	△ 37
外国再保険貸		14	7	△ 7
未収金		13,007	13,941	933
未収収益		124	103	△ 20
預託金		549	625	75
仮払金		5,225	5,823	598
繰延税金資産		13,699	15,606	1,907
資産の部合計		258,610	279,766	21,156

(単位：百万円)

科 目	年 度	前事業年度 (2021年3月31日)	当事業年度 (2022年3月31日)	比較増減
負債の部				
保険契約準備金		193,860	216,784	22,923
支払備金		39,224	44,812	5,587
責任準備金		154,635	171,972	17,336
その他負債		16,019	17,282	1,263
再保険借		642	838	196
外国再保険借		31	27	△ 3
未払法人税等		523	620	96
預り金		85	87	1
未払金		7,236	7,562	326
仮受金		7,500	8,145	645
退職給付引当金		2,169	2,364	194
賞与引当金		1,230	1,263	33
役員賞与引当金		—	3	3
特別法上の準備金		298	327	28
価格変動準備金		298	327	28
負債の部合計		213,578	238,026	24,447
純資産の部				
株主資本				
資本金		20,000	20,000	—
資本剰余金		3,389	3,389	—
資本準備金		3,389	3,389	—
利益剰余金		21,024	18,069	△ 2,955
利益準備金		2,174	4,048	1,874
その他利益剰余金		18,850	14,020	△ 4,830
繰越利益剰余金		18,850	14,020	△ 4,830
株主資本合計		44,414	41,458	△ 2,955
評価・換算差額等				
その他有価証券評価差額金		617	282	△ 335
評価・換算差額等合計		617	282	△ 335
純資産の部合計		45,032	41,740	△ 3,291
負債及び純資産の部合計		258,610	279,766	21,156

損益計算書

(単位：百万円)

年 度 科 目	前事業年度 (自 2020年 4 月 1 日 至 2021年 3 月 31 日)	当事業年度 (自 2021年 4 月 1 日 至 2022年 3 月 31 日)	比較増減
経常収益	132,445	140,941	8,495
保険引受収益	130,850	139,636	8,786
正味収入保険料	129,645	139,548	9,902
積立保険料等運用益	74	88	13
支払備金戻入額	1,129	—	△ 1,129
資産運用収益	1,515	1,209	△ 306
利息及び配当金収入	1,294	1,291	△ 2
有価証券売却益	296	6	△ 289
積立保険料等運用益振替	△ 74	△ 88	△ 13
その他経常収益	79	95	15
経常費用	117,751	131,870	14,119
保険引受費用	83,366	96,848	13,481
正味支払保険金	56,136	61,503	5,367
損害調査費	9,756	10,279	522
諸手数料及び集金費	1,994	2,141	146
支払備金繰入額	—	5,587	5,587
責任準備金繰入額	15,478	17,336	1,857
資産運用費用	35	—	△ 35
有価証券売却損	35	—	△ 35
営業費及び一般管理費	34,340	35,016	676
その他経常費用	9	6	△ 3
その他の経常費用	9	6	△ 3
経常利益	14,694	9,070	△ 5,623
特別利益	—	—	—
特別損失	579	115	△ 464
固定資産処分損	549	86	△ 463
特別法上の準備金繰入額	30	28	△ 1
価格変動準備金繰入額	30	28	△ 1
税引前当期純利益	14,114	8,955	△ 5,158
法人税及び住民税	5,260	4,313	△ 946
法人税等調整額	△ 1,307	△ 1,776	△ 469
法人税等合計	3,952	2,537	△ 1,415
当期純利益	10,161	6,418	△ 3,743

2. その他情報

2021年度 損益状況の対前期比較

(単位：百万円)

科 目	年 度		比較増減	増減率
	前事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)		
元受正味保険料(含む収入積立保険料)	130,379	141,636	11,256	8.6%
(元受正味保険料)	(130,379)	(141,636)	(11,256)	(8.6)
保 險 引 受 収 益	130,850	139,636	8,786	6.7
(うち正味収入保険料)	(129,645)	(139,548)	(9,902)	(7.6)
保 險 引 受 費 用	83,366	96,848	13,481	16.2
(うち正味支払保険金)	(56,136)	(61,503)	(5,367)	(9.6)
(うち損害調査費)	(9,756)	(10,279)	(522)	(5.4)
(うち諸手数料及び集金費)	(1,994)	(2,141)	(146)	(7.4)
資 産 運 用 収 益	1,515	1,209	△ 306	△ 20.2
(うち利息及び配当金収入)	(1,294)	(1,291)	(△ 2)	(△ 0.2)
(うち有価証券売却益)	(296)	(6)	(△ 289)	(△ 97.9)
資 産 運 用 費 用	35	—	△ 35	△ 100.0
(うち有価証券売却損)	(35)	(—)	(△ 35)	(△ 100.0)
営 業 費 及 び 一 般 管 理 費	34,340	35,016	676	2.0
(保険引受に係る営業費及び一般管理費)	(34,281)	(34,926)	(644)	(1.9)
そ の 他 経 常 損 益	70	89	19	27.6
経 常 利 益	14,694	9,070	△ 5,623	△ 38.3
(保険引受利益)	(13,201)	(7,860)	(△ 5,341)	(△ 40.5)
特 別 利 益	—	—	—	—
特 別 損 失	579	115	△ 464	△ 80.1
特 別 損 益	△ 579	△ 115	464	—
税 引 前 当 期 純 利 益	14,114	8,955	△ 5,158	△ 36.6
法 人 税 及 び 住 民 税	5,260	4,313	△ 946	△ 18.0
法 人 税 等 調 整 額	△ 1,307	△ 1,776	△ 469	—
法 人 税 等 合 計	3,952	2,537	△ 1,415	△ 35.8
当 期 純 利 益	10,161	6,418	△ 3,743	△ 36.8
諸比率				
正味損害率	50.8%	51.4%		
正味事業費率	28.0%	26.6%		
修正経常利益	19,149	14,831	△ 4,317	△ 22.5
E.I. 損害率	54.2%	60.0%		

- (注) 1. 保険引受利益 = 保険引受収益 - (保険引受費用 + 保険引受に係る営業費及び一般管理費) ± その他収支
 なお、その他収支は自動車損害賠償責任保険等に係る法人税相当額などがあります。
2. 正味損害率 = (正味支払保険金 + 損害調査費) ÷ 正味収入保険料 × 100
3. 正味事業費率 = (諸手数料及び集金費 + 保険引受に係る営業費及び一般管理費) ÷ 正味収入保険料 × 100
4. 修正経常利益 = 経常利益 + 異常危険準備金繰入額※
 ※異常危険準備金戻入の場合は、「異常危険準備金繰入額」はマイナスとなります。
5. E.I. 損害率 = (正味支払保険金 + 支払備金繰入額 + 損害調査費) ÷ 既経過保険料 × 100
 なお、地震保険および自動車損害賠償責任保険を除いております。

種目別保険料・保険金

元受正味保険料

(単位：百万円)

種 目	年 度	前事業年度 (自 2020年 4月 1日 至 2021年 3月 31日)			当事業年度 (自 2021年 4月 1日 至 2022年 3月 31日)		
		金 額	構成比	増減率	金 額	構成比	増減率
火 災		5,087	3.9	123.6	8,124	5.7	59.7
海 上		—	—	—	—	—	—
傷 害		8,998	6.9	△ 2.8	9,202	6.5	2.3
自 動 車		116,294	89.2	8.1	124,309	87.8	6.9
自動車損害賠償責任		—	—	—	—	—	—
合 計		130,379	100.0	9.4	141,636	100.0	8.6

正味収入保険料

(単位：百万円)

種 目	年 度	前事業年度 (自 2020年 4月 1日 至 2021年 3月 31日)			当事業年度 (自 2021年 4月 1日 至 2022年 3月 31日)		
		金 額	構成比	増減率	金 額	構成比	増減率
火 災		2,937	2.3	128.7	4,703	3.4	60.1
海 上		0	0.0	136.7	—	—	△ 100.0
傷 害		9,283	7.2	2.6	9,489	6.8	2.2
自 動 車		115,920	89.4	8.0	123,986	88.8	7.0
自動車損害賠償責任		1,504	1.2	△ 12.1	1,367	1.0	△ 9.1
合 計		129,645	100.0	8.6	139,548	100.0	7.6

正味支払保険金

(単位：百万円)

種 目	年 度	前事業年度 (自 2020年 4月 1日 至 2021年 3月 31日)			当事業年度 (自 2021年 4月 1日 至 2022年 3月 31日)		
		金 額	構成比	正 味 損害率	金 額	構成比	正 味 損害率
火 災		253	23.3	12.2	544	115.1	16.4
海 上		1	—	—	0	△ 98.3	—
傷 害		3,077	△ 5.3	37.0	3,291	7.0	38.6
自 動 車		51,469	△ 7.3	52.4	56,337	9.5	53.2
自動車損害賠償責任		1,334	△ 0.9	88.7	1,329	△ 0.4	97.2
合 計		56,136	△ 6.9	50.8	61,503	9.6	51.4

単体ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当事業年度 (2022年3月31日)
(A) 単体ソルベンシー・マージン総額	71,522	76,402
資本金又は基金等	35,040	35,040
価格変動準備金	298	327
危険準備金	140	148
異常危険準備金	32,315	38,076
一般貸倒引当金	—	—
その他有価証券評価差額金・繰延ヘッジ損益(税効果控除前)	772	352
土地の含み損益	—	—
払戻積立金超過額	—	—
負債性資本調達手段等	—	—
払戻積立金超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	—	—
控除項目	—	—
その他	2,956	2,457
(B) 単体リスクの合計額 $\sqrt{(R_1+R_2)^2+(R_3+R_4)^2+R_5+R_6}$	16,598	18,787
一般保険リスク (R ₁)	14,616	15,739
第三分野保険の保険リスク (R ₂)	0	0
予定利率リスク (R ₃)	142	151
資産運用リスク (R ₄)	2,005	1,958
経営管理リスク (R ₅)	364	407
巨大災害リスク (R ₆)	1,460	2,500
(C) 単体ソルベンシー・マージン比率 [(A)/{(B)×1/2}]×100	861.7 %	813.3 %

注. 「単体ソルベンシー・マージン比率」とは、保険業法施行規則第86条（単体ソルベンシー・マージン）および第87条（単体リスク）ならびに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出された比率です。

<単体ソルベンシー・マージン比率>

- ・損害保険会社は、保険事故発生の際の保険金支払や積立保険の満期返戻金支払等に備えて準備金を積み立てておりますが、巨大災害の発生や、損害保険会社が保有する資産の大幅な価格下落等、通常の見測を超える危険が発生した場合でも、十分な支払能力を保持しておく必要があります。
- ・こうした「通常の見測を超える危険」を示す「単体リスクの合計額」（上表の(B)）に対する「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」（すなわち単体ソルベンシー・マージン総額：上表の(A)）の割合を示す指標として、保険業法等に基づき計算されたものが、「単体ソルベンシー・マージン比率」（上表の(C)）であります。
- ・「通常の見測を超える危険」とは、次に示す各種の危険の総額をいいます。
 - ①保険引受上の危険（一般保険リスク）
（第三分野保険の保険リスク）： 保険事故の発生率等が通常の見測を超えることにより発生し得る危険（巨大災害に係る危険を除く）
 - ②予定利率上の危険（予定利率リスク）： 実際の運用利回りが保険料算出時に予定した利回りを下回ることにより発生し得る危険
 - ③資産運用上の危険（資産運用リスク）： 保有する有価証券等の資産の価格が通常の見測を超えて変動することにより発生し得る危険等
 - ④経営管理上の危険（経営管理リスク）： 業務の運営上通常の見測を超えて発生し得る危険で上記①～③及び⑤以外のもの
 - ⑤巨大災害に係る危険（巨大災害リスク）： 通常の見測を超える巨大災害（関東大震災や伊勢湾台風相当）により発生し得る危険
- ・「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」（単体ソルベンシー・マージン総額）とは、損害保険会社の純資産（社外流出予定額等を除く）、諸準備金（価格変動準備金・異常危険準備金等）、土地の含み益の一部等の総額であります。
- ・単体ソルベンシー・マージン比率は、行政当局が保険会社を監督する際に活用する客観的な判断指標のひとつですが、その数値が200%以上であれば「保険金等の支払能力の充実の状況が適当である」とされております。